

たまねぎの病害(べと病など)の発生に注意を！

たまねぎでは一部の地域で、べと病などの病害の発生が増加してきました。発生予察巡回調査(4月25日、阪南市・岸和田市)において、前回調査(4月12日)と比較して、これら病害の発生の増加が確認されています。また、予察定点以外のほ場においても、発生がやや目立つほ場が認められました。

今年の春期は、平均気温がやや低めの傾向にあり、降水量もやや少なかったことから、べと病などの発生は少なめに推移してきましたが、今回の調査では発生の増加が認められ、例年4月中旬から5月上旬にかけて発生が増える傾向にあるため、今後の天候によっては注意が必要となります。

この時期から収穫前に、これらの病害にかかると球の肥大が悪くなり、収量の減少や品質が低下します。

ほ場をよく見回り下記事項に注意しながら病害の発生に気をつけ、早期の防除に努めましょう。

たまねぎの葉にでる主な病害

(べと病)

・主に葉に発生。春に発生する二次病斑は、黄色で大型の長卵形から楕円形をしている。病斑上に、白または暗紫色のかびが生えることが多い。

(白色疫病)

・主に葉に発生。初め中央部付近に、不整形で周縁部がやや不鮮明な油浸状、青白色の病斑を生じる。拡大すると葉は下垂しよじれる。

被害が進むと、株のほとんどの葉が白色の葉枯れ状となる。

(ボトリチス葉枯症)

・*Botrytis squamosa*, *B. cinerea*, *B. byssoidea* の3種類の菌。被害は酷似、ボトリチス葉枯症と総称。主に葉に発生。

寒冷期は汚白色をした円形～楕円形の1～2mmの病斑。

4月以降は長楕円～紡錘形、*B.byssoides*では、輪郭がやや不鮮明な数cmの萎凋斑となる。

<防除対策>

(耕種的防除)

- ・排水を良くする。
- ・被害葉や被害株は速やかに、ほ場外へ持ち出し処分する。

(薬剤による防除)

- ・予防散布に重点をおく。
- ・発生を確認したら、速やかに薬剤散布を行う。



べと病の被害葉 その1
(黄色い大型病斑)



べと病の被害葉 その2
(暗紫色のかび)



白色疫病の被害葉



ボトリチス葉枯症(右側の小型の病斑)
と灰色かび病(左側の大型 (原

図: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所・岡田主幹研究員)

<防除対策>

(耕種的防除)

- ・排水を良くする。
- ・被害葉や被害株は速やかに、ほ場外へ持ち出し処分する。

(薬剤による防除)

- ・予防散布に重点をおく。
- ・発生を確認したら、速やかに薬剤散布を行う。

<参考:発生予察調査結果> 各市2地点・各地点25株調査

| | | | |
|--------|--------|--------------|---------------|
| べと病 | / 阪南市 | (4月11日) 0.0% | (4月25日) 2.0% |
| | / 岸和田市 | (4月11日) 6.0% | (4月25日) 10.0% |
| 白色疫病 | / 阪南市 | (4月11日) 0.0% | (4月25日) 2.0% |
| | / 岸和田市 | (4月11日) 0.0% | (4月25日) 0.0% |
| ホトトリチス | / 阪南市 | (4月11日) 0.0% | (4月25日) 6.0% |
| 葉枯れ | / 岸和田市 | (4月11日) 0.0% | (4月25日) 6.0% |

* 定点調査以外でも、発生を確認(4月25日)。べと病 150 株調査、その他 50 株調査。

| | | |
|-----------|--------|---------|
| べと病 | / 阪南市 | : 17.3% |
| 白色疫病 | / 阪南市 | : 4.0% |
| ホトトリチス葉枯れ | / 泉佐野市 | : 18.0% |

<参考:登録薬剤:たまねぎ(白色疫病・べと病)>

| | |
|-------------------|--------------------------|
| シマンタ`イセン水和剤(注1) | (白色疫病) 400~500 倍 3 日/5 回 |
| | (べと病) 400~600 倍 3 日/5 回 |
| リト`ミルコ`ールト`MZ(注1) | (白色疫病) 1,000 倍 7 日/3 回 |
| | (べと病) 1,000 倍 7 日/3 回 |
| ホライス`ント`ライフロアブル | (白色疫病) 2,500 倍 3 日/3 回 |
| | (べと病) 2,500 倍 3 日/3 回 |
| プロホ`ース`顆粒水和剤 | (白色疫病) 1,000 倍 7 日/3 回 |
| | (べと病) 1,000 倍 7 日/3 回 |

* ホトトリチス葉枯れ症の登録薬剤はない。

(注1): マンゼブを含む農薬の総使用回数は、5回

◎防除薬剤については、

●Web 版大阪府病害虫防除指針(<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム
(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html>)

にて確認してください。